

# RFマトリクススイッチボックス(MM6000)導入メリット

◇無線通信機器の相互接続性試験(IOT)ならびにRF信号接続切替の自動化に最適なシステムです

[アプリケーション ~\*Application\* ~]

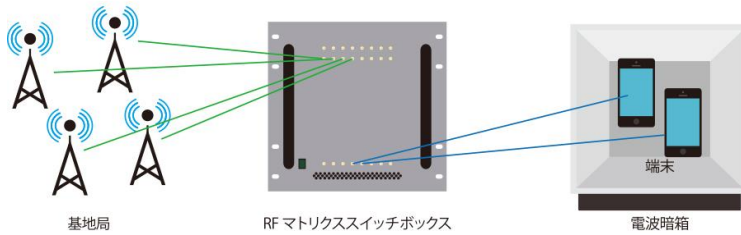
さまざまなモノがインターネットに繋がるIoT (Internet Of Things) が急速に拡大するなか、通信インフラで重要な役割を担うセルラー機器には、これまで以上の信頼性が求められています。

一般的にeNB(基地局) - UE(端末)間の伝搬路疑似やハンドオーバー試験は、各機器(機種)・通信経路毎に全ての組み合わせを評価することが肝要ですが、eNB及びUEはメーカー・ラインアップも多種多様で、全ての組み合わせを評価するには、膨大な時間と手間を必要とします。

RFマトリクススイッチボックス(MM6000シリーズ)は、高速デジタルアッテネータとRFマトリクススイッチを主構成とし、伝搬路疑似やハンドオーバー試験、RF信号接続切替などのバリエーション試験(相互接続性試験)の自動化に最適な製品といえます。

[ソリューション ~\*Solution\* ~]

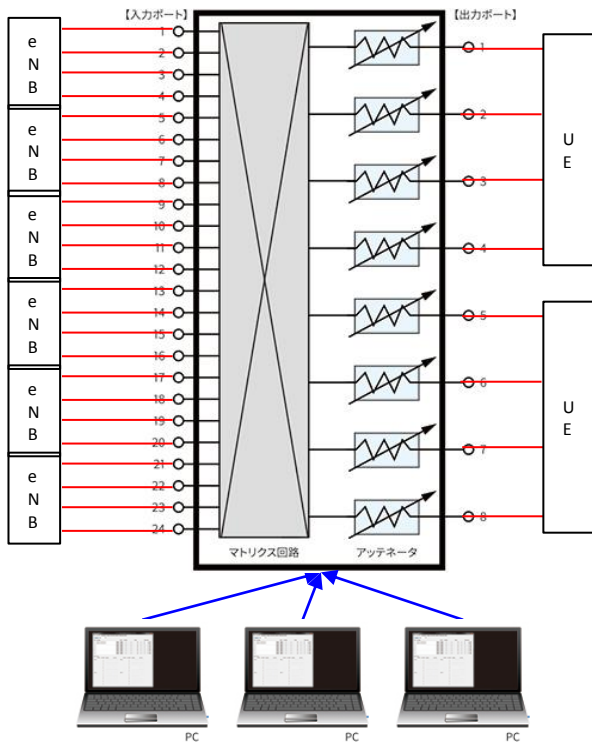
## ■構成図



## ■主な導入メリット

1. 試験の自動化により、昼夜連続試験を無人化(省力化)できコスト削減に繋がります。
2. 手作業によるRF接続切替から開放され、誤接続や繋ぎ変えによる作業時間を大幅に削減できます。

24×8マトリクスのイメージ



- ◇LAN内の複数のPCから同一ユニットの制御が可能
- ◇入出力経路をマトリクスに切替可能
- ◇CLIにより、他システムとのスクリプト化が可能

製品カタログ(PDF)はこちら → [ダウンロード](#)

## 標準仕様

	MM6824	MM6816
周波数帯域	700MHz ~ 4GHz	
VSWR	2.0 以下	
最大入力レベル(基地局側)	1W(+30dBm)	
最大入力レベル(端末側)	200mW(+23dBm)	
挿入損失	20dB(代表値)	
アイソレーション	80dB 以上(スイッチ) 17dB 以上(スプリッタ)	
入出力ポート数(基地局側)	24	16
入出力ポート数(端末側)	8	
入出力組み合わせ	1対1	
RFコネクタ	SMA(J)	
インピーダンス	50Ω	
スイッチ	リレー式	
アッテネータ	電子式(デジタル)	
アッテネータ減衰量	0 ~ 95.5dB(0.5dB ステップ)	
インターフェース	LAN	
寸法	482.6(W)×443.7(H)×550.0(D)mm(突起物等除く) 10U: 19 インチシステムラックマウントに収容可	
重量	約 50kg	約 45kg
電源	AC100V(50/60Hz)	

※上記と異なる仕様への対応ならびに製品の詳細については、弊社営業担当までお気軽にご相談ください。 2018/10